



●珈琲飲みながら……

輝いて
新しい波を
起したい！

「滝の白糸」にいどむ
あさ おか ゆき じ
朝丘 雪路さん

☆ご紹介

昭和10年7月23日生まれ、画家伊東深水を父とし東京築地育ち、昭和26年宝塚音楽学院に入学、31年松竹と専属契約、34年松竹を離れ、舞台、映画、テレビ、歌に幅広く活躍、60年日本舞踊「深水流」を創流、全国に千人余の弟子をもつ。

この六月、大阪歌舞伎座で「滝の白糸」を上演するのでキャンペーンや関係先へのごあいさつ回りに来神された朝丘雪路さんにオリエンタルホテルのスカイラウンジで「珈琲を飲みながら」抱負あれこれをおききました。

★神戸は第二の故郷です

東京築地に生まれ銀座育ちですが、宝塚歌劇団にいた頃は暇をみつけては神戸へよくきましたから、神戸は第二の故郷です。くるたびごとに美しく清潔になっていきますね。若い人が神戸へ旅して、神戸ファッションに憧れ買い、異人館巡りを楽しみ、コーヒーをのみ、ケーキをたべるのがブームになっているのも、うなずけますね。

★宇崎竜童のロックにのせて

若ものにも判る「滝の白糸」を

この六月に大阪で「滝の白糸」をやります。新派の名狂言ですね。それを若い人にも十分に楽しみ納得できるお芝居にします。それには「明治一代女」同様に宇崎竜童さんのロックミュージックをバックに使ったり新演出で挑戦します。もっとも新派の名狂言は52年に「鶴八鶴次郎」を帝劇で、61年に「明治一代女」を新橋演舞場でやりましたから三度目の挑戦となります。

私が新派にいたとき、恩師花柳章太郎先生は「俺の芝居を真似しろ、徹底して真似しろ、それが新しい芝居を生むんだ」とよくいわれました。

新派も百年です。いま新派の方々が伝統を守るに必死なのは大切なことですが、私は「新しい波」の新派、つまり「新波」としての名狂言の再創造をしてみたいのです。おがましいようですが、いまになって章太郎先生のお教えがわかってきたように思われます。

「明治一代女」をやりましたとき高校生がおばあちゃんにつれられてみにきて大感激して手紙をくれました。



オリエンタルホテルのスカイラウンジでピンクのニットウェアがやさしい朝丘雪路さん。「新派」と名附けて現代の「新派」をめざす『滝の白糸』に夢をかけて熱い想いを話す朝丘さん。

お友達をつれてまた観てお友達も手紙をくれました。楽屋へ貼りだして一同大感激。つまり若い高校生に「明治一代女」が分かってもらえたという嬉しさですね。こんどの「滝の白糸」も同様に宇崎竜童さんのロック音楽をふんだんに使います。この物語はご承知の通り泉鏡花の原作ですね。水芸の女旅芸人が苦学生を援助する。金の工面から誤って座元を殺害する。裁判官に出世した苦学生への裁きのもと、裁判官はビストル自殺、女旅芸人は舌をかみ殺す。これを新派悲劇調に暗くお涙頂戴式にせずに、あくまでも女の純愛物語として訴えたいのです。初めて知った恋心の嬉しさ、苦しさ、愛し信じた男を信じて従う女心のいじらしさ、強さ、明治という風俗のなかで、つまり新派名狂言のよさを失わず、その背景のなかで新鮮な感覚として訴えてみたいのです。ご期待ください。

★日舞の世界でも「新しい波」を

日本舞踊では「深水流」（しんすいりゅう）の家元になっていきます。創流は昭和60年東京歌舞伎座でのお披露目舞踊会です。きっかけは56年に「曾根崎心中」（三越劇場）で芸術祭優秀賞を頂いたり、59年にはニューヨークのカーネギーホールで「ジャパン・TODAY」で大好評を博したことなどが創流を決意させたかともいえるでしょうか。もともと「深水流」は舟橋聖一先生のご発想なのです。「二代目に名人なし」の格言の通り美人画家伊東深水を継ぐ者はいないがせめて深水の名だけでも残したい。それは「深水流」として雪路を家元にすることだと父との約束でもあったようです。

日舞はもともと花柳流で三之輔先生に師事しましたがご理解を得てふみきました。「曾根崎心中」のようにロックミュージックなど使う新舞踊の一方、古典舞踊も忘れず、つまり「滝の白糸」のように日舞の世界でも「新しい波」を創造したいのです。来年のリサイタルには「椿姫」を、などとあれこれ想をねっています。お客様でお弟子さんも千人余になりました。ご声援ください。

昨秋、神戸商工会議所・専務理事の激職から解放されたのを機に、かねての念願であった「観音霊場・札所巡り」を、実行に移すことと致しました。幸に、天候に恵まれたことと、できることなら、娘の一周忌に間に合わせたい、とハッスルした結果、当初の計画をはるかに上回り、一カ月余で西国三十三カ所を、引きつづき、二カ

★出会いの旅

札所巡り 余話

山田昇一

神戸商工会議所 参写



ここからスタート、第1 番札所
那智山青岸渡寺

月余で新西国霊場を、ともに、滞りなく巡拝し終り、ほつと、肩の荷をおろしたところでございます。そんな或る日のことでありました。

“あつ!! 典ちゃん……っ?”

この四月下旬からはじまる、「奈良シルク・ロード博」、

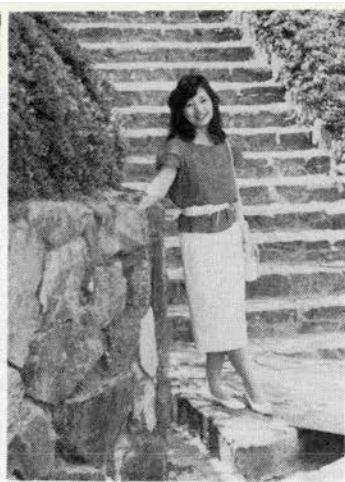
そのプレ・イベントとして、去る二月十四日、奈良で開催された「ウォーク・イン奈良」の催しに参加した、家内の姉夫婦は、所定訪問地の一つとして立ち寄った「奈良町資料館」の、奥まった一室に安置されていた、とある仏像の前で、異口同音に、思わず、こう叫んでいたという。大勢の人から、何事ならん、とげげんそうに見られていたというのに……。

先年病気でなくした私どもの娘、典子にそっくりの仏さんをみつけた、との知らせに、われわれ夫婦が、取るものも取りあえず、奈良にかけつけたことは申す迄もありません。とは言っても、身内の最良目で、似て見えたのだろう、あまり期待しない方が無難かも知れない、と、半信半疑のうちに奈良駅に降り立ったことも、否定出来ませんでした。

奈良町資料館は、猿沢池の南、徒歩で数分の町なかに、隣接の「庚申堂」とともに、ひっそりとたたずんでおりました。入館の挨拶もそこそこに、くだんの仏像のもとへと急いだ私ども夫婦は、一瞬、声もなく、その場に立ちすくんでおりました。似ておりました、親の欲目を大幅に割引いても、よく似ておりました。鼻すじ、口もと、ほほ、おとがい、細めで、やや華奢な感じがする、腕から指先まで、本当によく似ているのです。

“この仏さんは、先祖代々秘仏として、蔵の奥深く納められておりました。ところが、この度、シルク・ロード博が開かれるのを機会に、関係各方面からのおすすめもあって、取りあえず、三月一ぱい、ということではじめて公開にふみ切ったものです。従って、私自身、六十三才の今日まで、この仏さんを見たことはありませんでした。今回、生れてはじめて、拝観できたような訳なんです……。それにしても、確かによく似ておられますね”。これは、奈良町資料館の館長さんでもあり、庚申堂の庵主さんでもある、南 治さんが、娘の写真と見くらべながらのお話でした。

仏像は、「昇龍観音」と、名付けられておりました。



左・県下の名称第二十七番書寫山圓教寺で
上・今は亡き山田典子さん
右・昇龍観音

恐らく、台座の龍の飾り彫にちなんだものでありましょ
う。又、揭示されている説明によると、この仏さんは、
唐の時代の六世紀ごろ、敦煌近辺の西域で発見された、
ガンダーラ系石仏で、シルク・ロードを、らくだの背に
ゆられながら、いつの頃から、はるばる日本に渡ってこら
れたもの、従って、別名を「絹観音」とも呼ばれてい
る、とありました。

写真をとったり、まして、秘仏に手をふれるなど、も
つてのほかのことでありますのに、「そのようなご事情
でしたら」と、ガラスの扉を開けて、そっと、仏さんの
ほほをなでさせて下さった、南館長さんのご厚情は、涙
が出るほど嬉しく、近日中の再訪、再々訪をお約束し
て、館をあとに致した次第です。

冒頭に記しましたように、西国、新西国、と二つの観
音霊場を、全行程夫婦揃って、しかも、一つの例外もな
く順番通りに、巡拝し終り、この程、立派に表装されて
きた「集印軸」を前に、家内ともども、ささやかな満足
感に浸っていたその矢先のできごとでしたので、「二人
とも、よく頑張ったね」と、成仏した娘がほめに来てく
れたように思えてならず、なんとも言えない、しみじみ
とした心の安らぎを覚えた次第です。

「札所巡り」の功德だったのでしょか。

(63・2・25)

■座談会／神社史三巻の完結、楠公祭を迎えて――

“楠公さん”

あれこれ

『劇的な人間像・楠正成を忘れたらあかん』

■出席者

吉田智朗△湊川神社宮司▽

荒尾親成△元南蛮美術館館長・郷土史家▽

垣田時也△甲南女子大学教授▽

大森 尚△毎日放送資料部部長▽

佐野漣箕△元神戸新聞取締役・芸能評論家▽



れこれ」と題してお話していただきました。

★湊川神社史三巻

完結までの18年

大森 完結されて宮司さん、ほつとされたことでしょう。そのいきさつは。

吉田 明治5年がご創建で昭和47年が鎮座百年大祭でした。この百年大祭の記念事業、それもメインの一つに神社史をと最初三人の方にお願いました。が、結局森田康之助博士お一人の労作となりました。昭和43年の春にお願ひして53年に景仰編刊、59年に祭神編、そして62年に鎮

座編刊です。から実に18年の長い歳月でした。

垣田 神社司にとどまらず日本近代の正統的な文明編といってよく、すばらしく内容豊富です。島崎藤村は大作「夜明け前」の末尾で青山半蔵に「すべては神のままに」といわせていますが、まさにこれも神の心そのままですね。

大森 鎮座編で「学校教育と楠公」の資料を提出させてもらったのですが、父が神港商業に奉職していた関係もあり、神港商業、神戸高商とあらゆる学校教育に楠公さんが出てきます。今と大きな違いです。

「楠公さん」と親しまれてきた湊川神社、その鎮座百年の記念事業の一つである「湊川神社史」三巻が完結し「出版謝恩の集い」が催されました（63年3月25日）。

そしてこの5月24日、25日は神戸っ子に親しまれてきた「楠公祭」です。そこでこれを機会に吉田智朗宮司を囲んで事業に関係された荒尾親成（元南蛮美術館館長・郷土史家）、垣田時也（甲南女子大学教授）、大森尚（毎日放送資料部部長）、佐野漣箕（元神戸新聞取締役・芸能評論家）の各氏にお集まり願ひ編さんのご苦心や「楠公さんあ



佐野 達賢氏



大森 尚氏



垣田 時也氏



荒尾 親成氏



吉田 智朗氏

佐野 石碑に対してこの三巻を「紙碑」の建立だといっていますがその通りです。これは森田博士という適任者と学者である宮司さんとの熱意の両輪あつてのことで、宮司さんは「明（あか）せる史（ふみ）」のわが魂ゆする」と歌をよんでおられますが、誰しもの魂ゆする大作です。

★楠公はんを忘れたらアカン
荒尾 福原も新開地も、神戸は楠公さん中心に発展してきた。大黒座の芝居、大相撲。この4月で満85歳になるが、昭和10年の楠公六百年祭は大変な賑わいやった。開港50年とも重なり観艦式もあり、いま湊川公園に残る楠公銅像もこのときの記念像で戦争中でも楠公像というので供出をまぬがれたのです。

大森 神港商業の校門のイルミネーション、まだ眼に浮かびます。楠公さんを忘れたらいけません。

垣田 忘れたから新開地もさびれたといえませんか。神戸まつりも楠公さんを忘れてます。楠公はんといつて親しんできたんですから。

★劇的な日本人としての楠公
佐野 しかし、楠公が歴史に登場するのは僅か5年足らずです。元弘元年（一一三三）8月、後醍醐天皇等置行幸のお召

JR西日本ご指定

株式会社 淡路屋

中央区相生町3-1-1

☎ 351-1682

創業明治元年



水本屋

中央区多聞通3-3-15

☎ 382-0080

記念品・贈答品

平山商会

神手駅前

☎ 351-1551

から延元元年（一三三六）の湊川殉死までです。野望のため謀反してゆくなかに楠公のみが理想に生き理想に死ぬ。しかも一族、その手勢まで一人の造反者もなく。この劇的な人間像、その思想は何なのか、考えますね。

垣田 天皇との出会いの感動が大きいです。当時は公卿以上が人間扱いで、武家、まして土族などは人間以下ですから。六甲山へ逃げれば助かるものを。義貞など逃げましたからね。

大森 太平記では「菊池武時を以て最高となす」で楠公の論功恩賞などは実に少ないです。怒ってしかるべきです。

吉田 北畠親房は「神皇正統記」で楠公無視、一行も書いていません。明治になって楠公は正一位を贈られましたから親房が知ったら卒倒したでしょう（笑）。

垣田 梅松論は武家側つまり足利びいき、太平記は公卿びいきですが両方とも楠公をほめていますし尊氏もほめています。日本の精神風土の中に脈々と生きた人間像です。

佐野 運命のいかんともすべからざることを知りながら、平家滅亡のぎりぎりまで反抗し生き抜くのが平知盛です。この意志とも違うし孔子のいう「士は己

を知る人のために死す、犠牲は礼」という劇的な日本人としての楠公の思想は考えてみると深いですね。

吉田 それが楠公父子だけでなく末長く一族は幕府に発言しています。不思議な一族です。ある思想団体が湊川神社を利用しようとした。またある思想団体が極端に攻撃しようとしたがいずれも成功せず現在に。これは昔からの神戸市民の長い「親近感」がそれを許さなかったのだと思います。孫文は「革命未だならず」と言って死んでいます。毛沢東より評価は高いですね。考えてみたい事柄です。

★大楠公展開催

佐野 協賛事業として「大楠公展」は二回やりました。47年5月の「大楠公父子展」は三越創業三百年記念も重なり店長唐沢大氏が大はりきり。当時はまだ国宝、重文が百貨店に展覧許可されましたから。国宝後醍醐天皇の宸影、宸翰、綸旨、重文大塔官令旨はじめ、鎧、兜、刀剣、実に壮観でした。60年、神戸そこうの「大楠公展」も好評でした。

垣田 とにかくも心の故郷、楠公さんを忘れては世界のもの笑いになります。

△楠公会館にて▽

神戸市中央区多聞通
(湊川神社西側) 電話 三三四二六六〇七

功方耳鼻咽喉科医院

緒方耳鼻咽喉科医院

院長 緒方重郎

中央区中町通3-1-17

電話 341-3711

心のふれ合う！

楽しいお買物とうまいものの街

神戸高速地下名店街

イトロニベ

新開地駅タウン ↔ 神戸駅タウン

定休日・毎月第3火曜日 ☎ 341-3559 (事務局)

★神戸の集いから

★甲南軟式野球連盟

創立40周年を祝う

神戸の軟式野球界で最も大きな組織、甲南軟式野球連盟の40周年記念式典祝賀パーティが開かれた。

3月20日、東急インでの集いには、同連盟会長衆議員議長砂田重民氏を始め、張理事長、70チームの代表者など150人余が参加しにぎわいを見せた。パーティでは各チームの優勝、準優勝の表彰さらに永年在籍チーム、個人や連盟の功労者の表彰もおこなわれた。各表彰者には賞状、記念品、トロフィーなど山のようなプレゼントが。

引き続き催された祝賀パーティでは、楽しいゲームの数々、得意の歌の披露、



甲南軟式野球連盟創立40周年

さらに中国獅子舞も加わり一層華やかさを添えた。

★'88ソウルオリンピックに向けて日韓両国の絆を



日韓友好の絆を歌で

「新春日韓親善の集い」

が、3月8日生田神社会館に於いて兵庫県日韓親善協会により行なわれた。

出席者は員原俊氏兵庫県知事をはじめ、権中央婦人会会長、石井一衆議員議

員、矢原秀男参議員議員、小池義人兵庫県日韓文化友好協会会長、書家の望月美佐、中西勝二紀会理事他、

およそ200名が集まった。今

年はソウル五輪、ホロンピア'88と共にイベントを控えており、共に伝統芸能が交

換披露されるなど、ますます

交友好の絆が深まった。

★オーストラリア・日本を

より強い絆で

オーストラリアは今年で建国200年をかぞえ、国内、外交とも意気盛んな年。また4月の第4週は瀬戸大橋

博の南オーストラリアウィークという事も重なり、ピフパイシヨップ「パルフォース」で南豪州首相ジョン・パノン夫妻らを交えて試食会が4月15日に行なわれた。これは今回、同店がオーストラリアより製品直輸入という功績を認められて表敬訪問につながったもの。

オーストラリアではパイはスポーツ観戦中に頬張るような日常的食べ物。これを機に食生活でも日豪の和が、という一日でした。



ジョン・パノン夫妻を囲んで

★友だちの輪はテニスから

健康と人生を楽しむテニスクラブ「敬友会」の周年記念パーティが4月2日北山邸で開かれた。

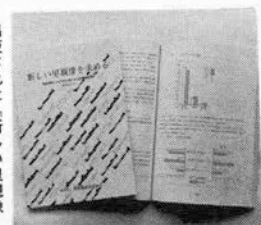


年齢も35歳から48歳

この会は社会党黒崎敬三議員が夫婦でテニスを楽しめたらと御影在住の知人らに呼びかけたもの。会員にはインターハイ出場経験の田辺さんをはじめ会社社長、医師など土地柄らしい8組のカップルが。年齢も35歳から48歳とまさにナイスミドル。毎週日曜午後約五時間、基礎からプレーまでミツチリと練習。学生時代に活躍した人？ばかりなので腕前の方も仲々のもの。夢は団体戦に出場すること。そして飲みながら第二の青春を謳歌すること。

神戸を福祉の街に

出版された「新しい里親像を求めよう」調査報告書



橋本 明
(社団法人家庭養護促進協会事務局長)



「新しい里親像を求めよう」調査報告書を出版

昭和37年より兵庫県下を対象に神戸新聞およびラジオ関西（大阪府下では毎日新聞）の協力で里親さがしの運動を続けている家庭養護促進協会神戸事務所では、この春「新しい里親像を求めよう」という調査報告書を出版した。（B5版、一四七ページ、一〇〇〇部）。

協会にはこれまでに二五、〇〇〇人を超える人たちが里子を育てたいという申し込みがあり、約一、六〇〇人の子どもに新しい里親を見つけてきている。しかしながらここ数年間は里親の申し込み者数も減ってきており、里子の委託数も年間四〇人前後と横バイが続いている。

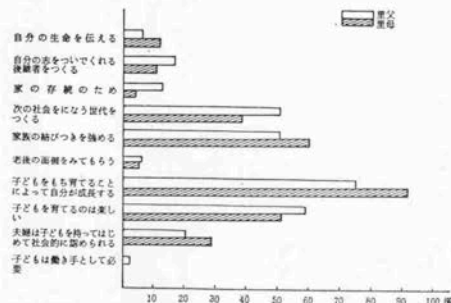
里親を求める運動も年々難しくなっているため、今回の調査では第一にどのような人たちが里親になりうるのかを調べ、第二にこれからの地域のなかからどうすれば新しく里親を見つけ、育てていけるのか、その効果的な方法をさぐるための基礎資料として実施したものである。

調査対象 協会の神戸事務所を通じて児童を委託し、現在、里親として里子を養育中の里父及び里母。

対象者数 里父59人 回収数56人 回収率94・9%
里母60人 回収数60人 回収率100%

面接調査時期 昭和61年7月15日～10月13日
調査方法 面接によるアンケート方式

他人の子どもを引きとって育てている里親というのはよほど変った人とかえらい特別な人なのではないかという先入観が世間にはあるように感じられるが、この調査で浮かんできた里親の姿というのは、ごく一般的、平均的な日本人の姿であり、特別な意識をもち、特別な生活をしている人たちではない、という事が客観的なデータからも裏づけられた。ただ、里親になった人たちは一般家庭の親たちよりも里親になるまでに他人の子どもをしばらく



里親にとっての子育ての意味（調査報告書から）

子どもをしばらく

の間でも預かって育てた体験をもっている人が多い。子育てを家の存続のためではなく「楽しみ」と感じている。預かる子どもの家庭背景についてはほとんど（九割）の人たちが「どんな事情の子どもでもよい」と考えている。また他人に対して世話好きで、老親の面倒は自分たちでみたいと考えており、子どもは施設よりも家庭で育てられることが重要だと考えている人が多い。このような点



新春の里親家庭の交流会

では一般の親たちとは少し違ったところもみられた。

里親自身の生活や意識の面では、里親は育てている子どもに満足しており（里父100%、里母99・1%）、引きとってから一年以内に里親の六割が親子の実感を感じている。夫婦仲もよく、子どもを引きとってから四割近い里親が、「夫婦仲がさらによくなった」と答えており、家庭の満足度も高い。「子育ての意味」についてはほとんどが「自分の成長」と答えており、「家族の結びつき

を強める」「子どもを育てるのは楽しい」などの回答が多い。

里親運動をすすめている協会への希望としては「協会の存在をもっと広く知らせるべき」を第一にあげ、二番めには「里親の申し込み窓口をもっと身近にしてほしい」をあげている。

この調査結果から、今育てている子どもに満足を感じ、充実した生活を送っている健康な里親の姿が浮き彫りにされたが、これから新しく里親を求めていくためにいくつかの課題も与えられた。

まず「里親という言葉を使いつから知ったか」という問に対し、「大人になつてから」という回答が八割を超えている。思いはじめてから」という回答が八割を超えている。このことから考えると里親制度については社会にはほとんど知られていないと思えるのでこの制度への知識や理解をひろげていく努力はより一層なされなければならない。そのためには小学校からの里親教育も必要になってくるだろうし、これから家庭を築いていく若い夫婦へのこの制度を紹介していくような工夫も考えていかねばならないだろう。さらに、子育ては楽しい、と感じる親になるためのプログラムも実施していきたい。

また最近の里親を希望する人たちは育児について知る機会が少なくなっているので、里親になりたい人たちのための研修や講座も考えてみたい。

さらに、里親を含め、一般家庭のさまざまな親子の諸問題に適切に対応するための、情報センターとしての役割を協会としても考えており、今その準備中である。

貴重な調査から与えられた課題を、これから長期的な展望に立てることができることから実現していきたいと考えている。

★ご希望の方には報告書を実費（一冊九〇〇円、送料二五〇円）で頒布いたします。お申し込みは協会の神戸事務所まで。

電話（〇七八）三四一―五〇四六。

第10回

神戸クラシックムービーフェスティバル

浪漫がいっぱい

KOBEより銀幕に愛をこめて



“あの頃の”映画の魅力とは一体何だろう。ストーリー、音楽、俳優、カメラワークetc……。

溢れんばかりの宝石箱にも似たこの不思議な感覚を“感動の名作”

“夢いっぱい”というお定まりの一言で片付けてしまうことに躊躇する。そもそも映画が初めて日本に上陸した地点は神戸。これを記念して昨年4月29日に「メリケン・シアター」が創作され、早くも一年が過ぎた。この「メリケン・シアター」のスター・ストーリーに名を連ねた“あの頃の”スターの映画が「第10回・神戸クラシック・ムービー・フェスティバル（於・新アサヒ劇場）」で5月28日（金）より次々と上映されることが決まった。目の前に大きく広がる銀幕と映画館という名の暗闇がまたもや映画ファンを魅惑し陶酔させる。 “あの頃の”映画の魅力を再び伝えるために。

61年春に始まった「神戸クラシック・ムービー・フェスティバル」は今回で遂に10回目を迎える。新アサヒ劇場、アサヒシネマ両劇場で約2年にわたって行なわれたフェスティバルの昨品リストは左記の通り。今回もラブ・ロマンスあり、ミステリーあり、ミュージカルと豪華な9作品が並ぶ。また、今回のフェスティバルでは香港旅行が当たるチャンス（7月1日抽選）もあります。

●フェスティバル前夜祭
時・5月27日（金）
夜7時30分より（開場は7時）
所・新アサヒ劇場
アサヒシネマ（入場無料）

神戸市中央区雲井通5丁目
2番1号（中央区役所北）
TEL 221-0626

名場面集、特別ゲストによる解説香港旅行やスチール写真などが当たる抽選会、パネル展etc、その他盛りだくさんの内容を企画中。

“神戸クラシックムービーフェスティバル” FILMOGRAPHY

- 第1回 1986年3月15日～4月25日
「花嫁の父」「ローマの休日」
「若草物語」「麗しのサブリナ」
「噂の二人」「黄昏」
- 第2回 1986年6月7日～7月11日
「雨に唄えば」「哀愁」「心の旅路」
- 第3回 1986年9月20日～10月24日
「ティファニーで朝食を」
「カサブランカ」「喝采」
- 第4回 1986年11月29日～12月19日
（クリスマス映画特集）
「クリスマスツリー」「ホワイトクリスマス」
「サンタクロース」
- 第5回 1987年2月7日～3月20日
「誰がために鐘は鳴る」「モロッコ」
「我が道を往く」
- 第6回 1987年4月25日～5月29日
「マイフェアレディ」「オズの魔法使い」
「巴里のアメリカ人」
- 第7回 1987年9月19日～10月9日
「グレンミラー物語」「ベニーグッドマン物語」
「6つの銅貨」
- 第8回 1987年10月10日～11月20日
（オーディリー・ヘップバーン特集）
「ローマの休日」「ティファニーで朝食を」
「麗しのサブリナ」「パリの恋人」
- 第9回 1988年4月9日～4月22日
（F・アステア & G・ロジャース特集）
「トップハット」「コンチネンタル」
「スウィングタイム」

KOBE
CLASSICS MOVIE
FESTIVAL
Vol. 10

PROGRAM

5/28(土)~6/3(金) ローマの休日

<監督 ウィリアム・ワイラー 1953年製作>
ローマを訪問した小国の女王(オードリ・ヘッパ
バーン)と新聞記者(グレゴリー・ペック)の恋の
おとぎ話。スペイン広場、遊覧船でのダンス。この
作品でアカデミー主演女優
賞に輝いた「妖精オードリ
ー」のあどけなさや気品を
そなえたあの微笑を忘れる
ことはできない。

T 10:00/12:10/2:20
/4:30/6:40



6/4(土)~6/6(月) 哀愁

<監督 マービン・ルロイ 1940年製作>
ロバート・ティラー&ヴィヴィアン・リーという
ハリウッドの美男美女によるルロイの最高作。ふ
たりを結びつけた戦争という
悪魔が運命の如くその仲を裂
く美しくも哀しい愛の悲劇。
恋愛映画といえば「哀愁」と
答えられるほどラブロマンス
の古典的名作である。

T 10:40/12:40/2:40/
4:40/6:40



6/7(火)~6/9(木) 旅愁

<監督 ウィリアム・ディターレ 1950年製作>
美しいピアニスト(ジョーン・フォンテン)と
アメリカに妻を残した技師(ジョセフ・コットン)
に芽生えた恋。偶然の飛行
機墜落事故で死亡と伝えら
れたふたりは、それを利用
して閉ざされた愛の生活を送る。
「セプテンバー・ソ
ング」の調べが甘く切ない。

T 11:00/12:55/2:50
/4:45/6:40



6/10(金)~6/12(日) 情婦

<監督 ビリー・ワイルダー 1957年製作>
ミステリーの女王クリスティの短篇「検察側の証
人」の映画化。愛する男を救うため、自らの生命を
放棄する女。深く恋を貫
く女を演じて、ディート
リッヒほどふさわしい女
優はいない。ラストの二
重のドンデン返しも見事
な推理映画の傑作。

T 10:25/12:30/
2:35/4:40/6:45



6/13(月)~6/16(木) ガス燈

<監督 ジョージ・キューカー 1944年製作>
ヒッチコックの「断崖」と並ぶ心理スリラーの傑
作。狂気の一步手前まで追いつめられる役を、細や
かな心理描写で演じたイン
グリッド・バーグマンが素晴
らしい。原作はバトリック・ハ
ミルトンの舞台劇でガス燈が
使われていた頃のロンドンが
背景。シャルル・ボワイエ共演

T 10:25/12:30/2:35/
4:40/6:45



6/17(金)~6/20(月) スティング

<監督 ジョージ・ロイ・ヒル 1973年製作>
1930年代のシカゴを舞台に「明日に向けて撃て」
の名コンビの演じるチンピラ(ポール・ニューマン、
ロバート・レッドフォード)が大ギャングを相手に
一世一代の大バクチを仕掛けて大金をせしめる。ア
カデミー作品
賞以下7部門
を制覇。

T 11:50/2
:05/4:
20/6:35



6/21(火)~6/23(木) ベーバームーン

<監督 ビーター・ボグダノビッチ 1973年製作>
「信じあい愛しあひ助けあえば、紙のお月さまだ
って本物に見えるんだ」史上最年少のアカデミー助
演女優のテータム・オニールの名演が光る。実父ラ
イアン・オニール演
ずるベテン師と長い
田舎道を旅する姿を
通して描く愛の絆。

T 11:20/1:10/
3:00/4:50/
6:40



6/24(金)~6/26(日) イースターパレード

<監督 チャールズ・ウォルターズ 1948年製作>
この映画で再びスクリーンにカムバックしたフレ
ッド・アステアの見事なタップダンスを十分に味わ
えるエンターティナーの真骨頂。ジュディ・ガー
ランドとアステアの初
顔あわせが新鮮な魅
力を発揮、文句なし
に楽しめる。

T 11:20/1:10/
3:00/4:50/
6:40



6/27(月)~7/1(金) 雨に唄えば

<監督 G・ケリー、S・ドーネン 1952年製作>
映画がサイレントからトーキーへの転換期のハリ
ウッドを舞台にしたモダン・ミュージカルの傑作。
どしゃぶりの雨の中を踊るジーン・ケリーのあの名
場面は有名。巨匠
アーサー・フリー
ド製作によるパッ
クステージもの。

T 11:20/1:10/
3:00/4:
50/6:40

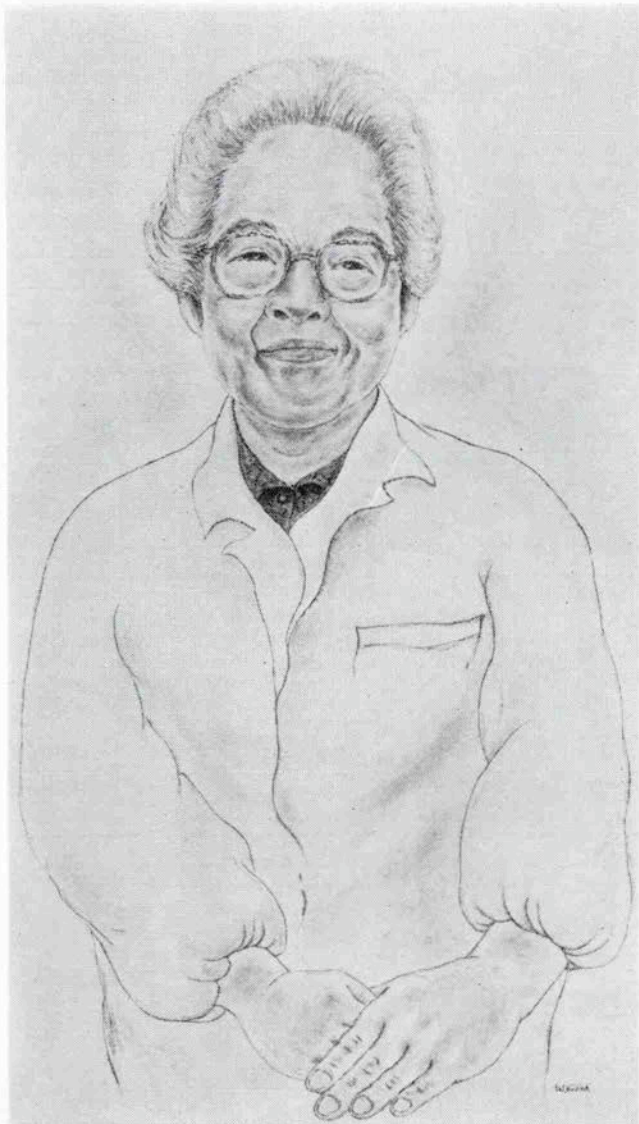


立岡佐智央の やあ、神戸っ子

KOBE★街かどの肖像シリーズ〈5〉
母の日に——△異国の味をつくって38年▽

五月の爽やかな季節に母の日があるのは、カーネーションの赤い花束とともに馨しく好ましいこと。思えばオギヤと生まれて初めて出会う人がお母さん。ひな鳥の「刷り込み」ではないが、いつの間にか母親の右へ倣えをしている自分に気付いてふと苦笑させられるのもこれ世の習い。お母さん、といえど家事から子育てのフルコースまで昔から苦勞の代名詞、とにかくにんげんを産み育てる大事業を一手に引き受けるのですからやはりたいへんなこと。人類のあけぼのの時代より母性信仰の歴史が延々とあるのも肯ける事実です。大いなる愛の根底はきつと母性にその源があるといえるのでしよう。まこと母は尊し、さてお会いしましたKOB Eのオカアサン、割烹着をぬぐ暇もなく……と急がしく立ち働しながらも、「作るのが楽しくてしかたがないのですよ」と微笑まれるのは、純ドイツ式ハム、ソーセージやスモークサーモンなどの燻製品を作り続けてこられたトアロード・デリカテッセン(本社・中央区北長狭通トアロード)の社長、高橋コトさん。白髪的美しいモダンなおカアサン、「わたしは食いしん坊なのです、ホホホホ」といとも軽あくおっしゃるが、ホントはたいへんな味の求道者。すでに神戸名物と言われて久しい定評の味。有馬工場では今も高橋さん自から美味求心に余念のない毎日とか。工場ではしめ縄を張り、神様の火をいただいてかまどに火を入れます、と語られるように深い信仰にささえられ、まごころ込めて作り出される味は絶妙の領域。苦を語らず、労を惜しまず、笑顔を決やさず、とまるで三すの川に橋をも渡しかねぬお人柄、ひとたびこの大らかな体中の笑みに出会ったなら、たちまち心のすみまでほのぼの。

神戸の国際性豊かな味を生み続け、創りつづけて38年、まさにKOB E、△味▽のお母さんです。



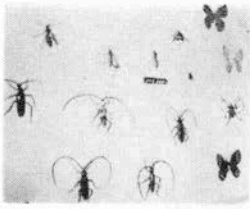
★ニットとショーとパティとノ

パントマイムのヨネヤママコさん他の衣裳デザインなどで有名な市野木江充子さん。サロン・ド・ポトピアで開いている手編みサロン受講生を中心とした作品発表会が3月26日、ポトピアホテル南館B1のサロンの間で開催された。身近なものを洒落に着こなす、ということ、めはスライドを交えて市野木先生からのお話が。ローランサンとカシニョールの絵を例に同じバスティルカラーの中の違いを話された。K.F.S中島会長の音頭で乾杯、食事会のあとは、受講生約20名による作品発表会。ちょびり恥ずかそうにステージを歩く姿が文字通り「手作りの味」を映し出していた。



市野木先生のニットショー

★ガラスの芸術「ペルマニア」
元町のジェムビルにある「ペルマニア」はベネチアンガラスをメインとしたガラス細工のお店。日本に紹介されるのは初めてという「ブルーノ・アマディ」の作品が取り扱われている。彼の作り出すガラス細工は繊細で小さなアリ、ハエからエビ、カニのような細かいもの、かわいらしい小動物などすべてがガラスで出来ている。触角やひげさえもガラスで出来ているので、細心の注意を払わなければならない。オーナーの村田啓二さんは、わざわざヨーロッパまで買い付けに



繊細なガラス細工の数々……

行き、飛行機の手荷物として品物を持ち帰るそうだ。お値段の方はというと、ラズベリ、ブルーベリーの千四百円から、えんどう豆のセツト六万二千円まで。あなただけ一度「ペルマニア」に立ち寄って本物のガラス細工を見て下さい。

■ペルマニア 中央区元町通2-3-2 ジェムビル 電話 333-8735

★K.B.T第25回記念発表会

25年の伝統と技術を持つ神戸美容テクニシャン研究会(K.B.T)は、4月4日三宮の神戸東急インホテルにおいて「ア・タッチ・オブ・60」というテーマで、一九六〇年代のファッション感覚を取り入れたヘア・ファッションショーを行った。



“A TOUCH OF '60S”

装道礼法学院の山口恵子先生



今回はヘアコンテストの他、特別ゲストとしてフランスのニース美容芸術協会のジョエル・グイックロム会長とミレーヌ・ラバンさんをむかえ、壇上でモデルを使ってレトリック感覚のすばらしいセツトを実演、皆うっとりで見とれていました。

その他、ゲストで装道礼法学院の山口恵子先生の「魔事のマナー」についての講演は、結納に関するもので会場に集まった若い女性たちはじっと聞き入っている様子だった。

★スイスからの贈り物

リュージュ・ミュージック・ボックススイスでも有名なリュージュ社のオルゴール展が、4月7日・12日大丸神戸店で開かれた。展示されていたオルゴールの数はそれ程多くなかったが、普通のオルゴールとは違い一台で何曲も演奏するものや扉が開いて小鳥



この音色あなたに届かないのが残念

がさえずるもの、人形が踊るものなど目をみはるものばかり。もちろん、外見だけでなくその動きとあるような音色は聞く人の心を和ませ、夢の世界へ運んでいく。目まぐるしい技術の進歩で、ラジオでもステレオでもその音は素晴らしい音色になっているが、かつて人間が所有した唯一の音楽を鑑賞する道具——ミュージック・ボックスにもう一度耳をかたむけてはいかがですか？

★フランステーブルウェア

その華麗な世界ノ
テーブル・オブ・コイ・ネットだけでなく、コンサルティング・ディスプレイも幅広く、



華麗な世界

く手がけ
る木村ふ
みさんが
5月19日
の24日、
大丸神戸
店で「フ
ランス・テ
ブルウエ
ア」展を開
催する。

なお、5月19日・2時の2回、木村ふみさん本人が来店し、テーブルコーディネートを楽しむ会を紹介する。

話題のひろば

<Ⅲ>

■月刊オール関西を激励する会開く

全関西の

“連絡役”を期待



写真はパーティのスナップから。(右・上から)中塚、吉本、田崎各氏(左・上)新谷英子、宮本豊子、小笠原暁、藤本ハルミ各氏(左・下)米花 稔、三林京子、小泉、鳥井各氏。

この春「月刊オール関西」(小泉康夫編集長)が復刊四周年を迎えたが、三月三十一日大阪ロイヤルホテルで、同誌を激励する集いがもたれた。

佐治敬三大商議会頭の音頭取りで京阪神の財界人・文化人がずらりと勢揃い。月刊オール関西の「親衛隊」を自認する面々だけに、そのスピーチにも熱がこもる。

「将来の大阪をつくるオピニオン誌としての役割にますます期待したいが、そのためにはもっと売れる雑誌になって欲しい」とは、中塚大阪21世紀協会理事長の弁。神戸の田崎真珠社長は、「関西の頼りになる雑誌として頑張って欲しい」と激励。吉本大阪丸ビル社長からは、「今回だけではなくこういう会を春秋二回ほどやりたい」との提案もあり、京阪神連帯の「連絡役」としての月刊オール関西の役割が改めて強調された。

来秋、京阪神で「世界ファッションフェア(WFF)」が開かれるが、清水メルボ紳士服社長、川上住友電工社長は、ともに関西のファッション界のオピニオンリーダーとしての同誌に大いなる期待の言葉を寄せた。

乾杯の音頭は鳥井サントリー副社長。湯井一葉さんのシャンソンタイムもあり、大阪らしからぬ(?) シャれたパーティとなった。

話題のひろば

<VI>

□春の豪華観光船入港

キャンベラ号で ウェディングショー



左上／畑尾美久子先生に着付けてもらった外人観光客の花ヨメ花ムコ。(右上) 琴演奏は茨木先生親娘 (右中) 見事な着付け畑尾先生を囲んで。(右下) 厳粛に結婚の儀。春を呼ぶキャンベラ号 (左下)

三月九日。春を告げる豪華客船キャンベラ号(四四、八〇七トン)が神戸港に入港。エージェントのスワイヤマツキンソンの依頼を受けて、月刊神戸っ子のプロデュースによる「ジャパン・ウェディングショー」を午後八時と九時半の二回に公演。外国人観光客約四〇〇人との国際文化交流を深めた。

オープニングは、茨木春重先生とお嬢さんの二人で琴の演奏「躍動」をテーマに日本の調べを。続いて、琴でサクラサクラや童謡に乗って、お客様参加の花嫁ショー。

花嫁ショーの着付けは、エリザベス美容室の畑尾美久子先生。この道五〇年のベテランだから、外国人のにわか仕立の花嫁花ムコに着付けるのもお手のもの。

「私なんか進駐軍が来ていた頃から外国人の花嫁を着付けてショーをやってたんですもの」と畑尾先生。本番の結婚式のセレモニーをお目にかげようと、猪名野神社の松下宮司と恵美子夫人が巫子スタイル。斎藤さん姉妹に、花嫁花ムコのモデルになってもらって、神前結婚式。三々九度の儀式に外人観光客もシーンとして見守る。フィナーレは、打掛けやお色直しの花嫁ショーで豪華けんらん。畑尾先生から、エンターテイメントの女性司会者は、金らん緞子の打掛をプレゼントされて大喜びだった

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

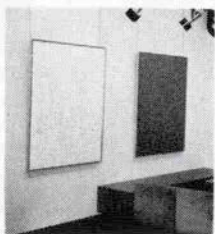


ART

★存在感のある寡黙

韓国の生んだ気鋭の現代画家、鄭相和氏の個展が、元町画廊において4月16日～4月26日の間、4年ぶりに開かれた。

世界的に活躍される氏はキャンパスに直接描くことを、拒否する姿勢を貫き、



その作品は、寡黙な中にも強烈な存在感を秘めており、安易な鑑賞を許さない。

今回も好評のうちに終了したが、じつと絵の前に立ちつくすファンの「何度見ても何かを考えさせられますね。」という声が印象的であった。

ART

★アメリカ・ブロードウェイ

イからのメッセージ

今、日本でも本場のミュージカルが大人気。その雰囲気味わえる企画が丸善神戸店で、3月3日～8日の一週間、「映画・ミュージカルポスター展」として開催された。

「シカゴ」「ウエスト・サイド・ストーリー」など



日本でもお馴染みのオリジナルポスターがズラリ。他にも、ジェームス・ディーンやマリリン・モンローの写真集・伝記などの洋書も揃い、映画好きには応えられない催しとなった。

OPEN

★オリエンタルグルメシティ

イが、新装オープン

神戸オリエンタルホテル地階で営業中のレストラン



INTRODUCE

★手づくりの心を伝えます

神戸の和菓子屋として、全国的に名を馳せている「二つ茶屋」。その社長・奥田四郎氏がこのたび会長に専務職だった小竹睦夫氏が新たに社長職に就かれた。

昭和27年に入社以来、和菓子の伝統の味を引きつぎながら、新しい技術に取り組んできた奥田会長。その手法は小竹社長をはじめとする「二つ茶屋」全体に受けつがれている。

「大量生産ではどうしても甘みの強いお菓子になってしまう。あっさりした味

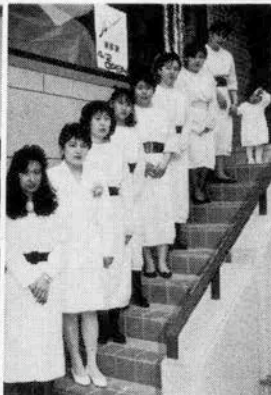
街がこの春、改装オープンした。

日本料理の石庭。広東名菜レストランの桃花春。イタリアンレストラン、タペルナ・デル・ルボ、と居ながらにして世界の味が味わえ、コスモポリタンゾーンとして華やいだ雰囲気がいっぱい。特に本格的イタリアンレストランの雰囲気をもそのまま表わした「タペルナ・デル・ルボ」は豊富な魚貝類を使った品々がご自慢。そしてグルメが納得する味を提供し続ける広東料理の桃花春。明るい店内がファミリーにぴったり。

が主流の現代にあった和菓子を作るには、昔から続いている手づくりでないと、その味は出せませんね。」



と熱っぽく語る会長。そして小竹社長は「その伝統を生かすには多店舗経営をする訳にはいかない。でも新しい商品には意欲的に取りくんできいます。」と今後の抱負を語った。



PEOPLE <65>



★コーディネイトが勝負です。

車川 明さん<MAC三宮店・店長>

昭和46年の入社と言うから、今年で16年のベテランだ。8歳、4歳の2人の男の子のお父さんとは、とても見えない若々しさで、趣味がドライブとテニスというのも頷ける。「レディースを始めて7年目。18歳〜23歳の方を中心に人気を集めています。女性の場合には特にカラーコーディネイトに気がつかれますね…」今年もカラフルな色彩が楽しめる。

OPEN

★北野あきら

新オープン!

ブル・あきらとしておなじみの、あきら美容室北野店が、4月2日リニューアルオープンした。オープンに先だちパーティが行われ、西野明先生や順子先生をはじめ神戸店、北野店のスタッフが勢揃いした。

新しい店内は黒とゴールドを基調にした「ネオジャパネスク」。大きな屏風がアクセントとなっていて、今までの美容室とは全く違った印象となっている。「美は緊張感から創られる」をモットーにしている「あきら」の手によってきつと美しい女性性が、神戸の街に誕生することだろう。



商品は「ジュエリー・ポシエ」のために開発したオリ

「ジュエリー・ポシエ」の最大の特長は、現金とクレジットカードのどちらでも利用できること。クレジットカードはキャッシングと同様電話回線を使ってクレジットセンターに照会、暗証番号により本人を確認し、代金は所定の日に指定の銀行口座から引き落とされる方法を取っている。

●みよしや会長龍重雄氏が3月24日、心不全でお亡くなりになりました。86歳。現社長龍秀昭氏はご子息。ご冥福をお祈りいたします。●世界初の宝飾品の自動販売機「ジュエリー・ポシエ」が田崎真珠から3月5日、原宿ヒブレに設置された。

TOICS



●ブレザーショップMACより「ロゴ入りトレーナー」を

トアロードのブレザーショップMACから春らしいエメラルドグリーンのトレーナーを3名様プレゼント!! (Mサイズのみ) これからの汗ばむ季節、カジュアルにもスポーティにも楽しめる。女性にもお薦め。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町113-1大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係までご応募下さい。3月末日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送。葉書を持って神戸っ子までプレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

また6月9日・12日にはお馴染みの「アランシヤベルの料理を楽しむ会」が本館31Fアランシヤベルで行われます。昼食¥12,000、夕食¥18,000。本場の味をご堪能下さい。お問合せは☎078-13021111ポर्टピアホテルまで。

ベルクールでは5月23日・27日をスイートウィークとしてホテル特製ケーキの食べ放題(飲み物付)を実施。また6月9日・12日にはお馴染みの「アランシヤベルの料理を楽しむ会」が本館31Fアランシヤベルで行われます。昼食¥12,000、夕食¥18,000。本場の味をご堪能下さい。お問合せは☎078-13021111ポर्टピアホテルまで。

●神戸ポर्टピアホテルから5月催しのご案内。南館4Fのやわらぎから初夏のおすすめ。5月1日・6月30日。麗なたきなど、初夏の味を届けます。また会席として「和(やわらぎ)」¥5,000「華(はなやぎ)」¥8,000も用意。やわらぎ・南館4F朝食A¥7,000・PM9~30(日祝A¥10,000)昼食A¥11,300・PM2~30 夕食PM5:00~PM9:30

●ブレザーショップMACより「ロゴ入りトレーナー」を